

令和元年秋期 情報セキュリティマネジメント試験 合格発表 アイテックコメント

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2019,11,20

10月20日(日)に行われた令和元年秋期の情報処理技術者試験について、8回目の実施となった情報セキュリティマネジメント試験(以下 SG 試験)の合格発表がありました。試験に関する統計データをもとに、全体の得点分布と合格率関連の情報をお知らせします。

■情報セキュリティマネジメント試験(SG)

[令和元年秋期の情報セキュリティマネジメント試験 統計情報]

応募者	18,550 人
受験者	14,355 人
合格者	6,754 人
合格率	47.0%

試験結果は合格率が 47.0%で、初回から 88.0%→70.3→66.4→50.4→53.7→46.3→51.9→47.0%と 50%前後で推移しています。受験対象としている一般企業の受験者が増えてきた中で、午後試験で出題される問題が長文で、内容の読取りが難しい問題といえるのですが、今回、合格点の 60 点を 46 点に下げるといふ異例の措置が取られました。午後試験問題が難しく、従来よりもかなり得点が低い結果になったための措置と考えられます。

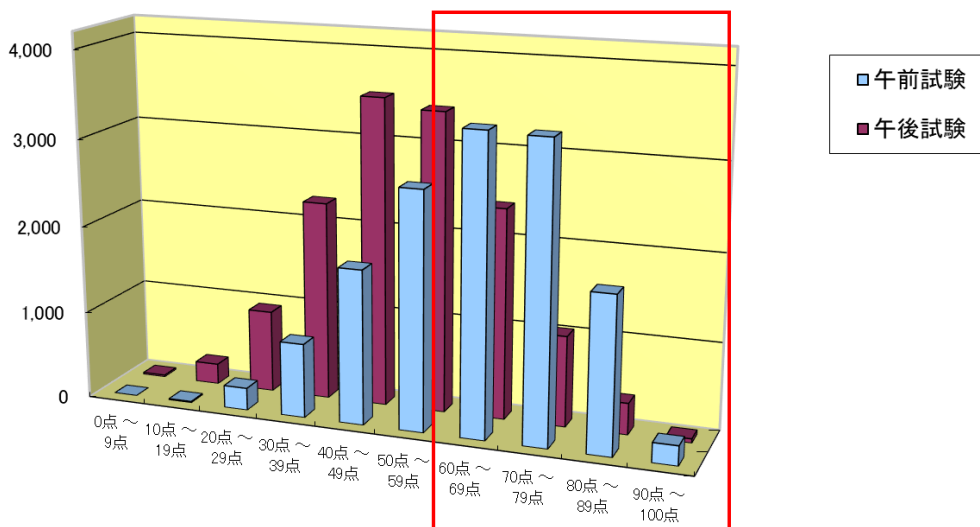
問題の難易度について、統計データから計算した午前試験の平均点の推測値は 62.9 点(初回 81.1 点→70.4→70.6→61.9→68.7→62.3→66.2→62.9 点)で前回より下がっています。

一方、午後試験の平均点の推測値は 50.1 点(初回 81.7 点→72.8→68.2→66.1→62.3→63.0→61.9→50.1 点)で、こちらは従来よりもかなり下がっていることが分かり、合格点の変更措置になったといえます。試験センターから発表された SG 試験の得点分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

[令和元年秋期 統計情報(情報セキュリティマネジメント 得点分布)]

得点	午前試験	午後試験
0 点 ~ 9 点	0	20
10 点 ~ 19 点	14	236
20 点 ~ 29 点	256	943
30 点 ~ 39 点	850	2,278
40 点 ~ 49 点	1,766	3,518
50 点 ~ 59 点	2,710	3,410
60 点 ~ 69 点	3,388	2,398
70 点 ~ 79 点	3,365	1,038
80 点 ~ 89 点	1,781	361
90 点 ~ 100 点	225	47
計	14,355	14,249
午前と午後の差		(106)
合格者数	6,754	合格者数との差
午前 60 点以上合計	8,759	2,005
午後 60 点以上合計	3,844	-2,910

令和元年秋 統計情報 (情報セキュリティマネジメント試験 得点分布)



今回の結果を分析すると、午前試験で合格基準点の60点以上の方は8,759人で、受験者の61.0%になります。前回69.8%から9%ほど少なくなっており、今回の午前試験は前回と比べてやや難しかったといえます。また、午後試験が基準の60点以上だった人は3,844人で受験者の26.9% (前回59.7%) にあたり、非常に得点が低かったことがわかります。この人数は合格者数と2,910人の差があり、合格点の見直しでこの人数の方が合格できたこととなります。

今回の試験の傾向や特徴を少し細かい内容でまとめると、次のようになります。

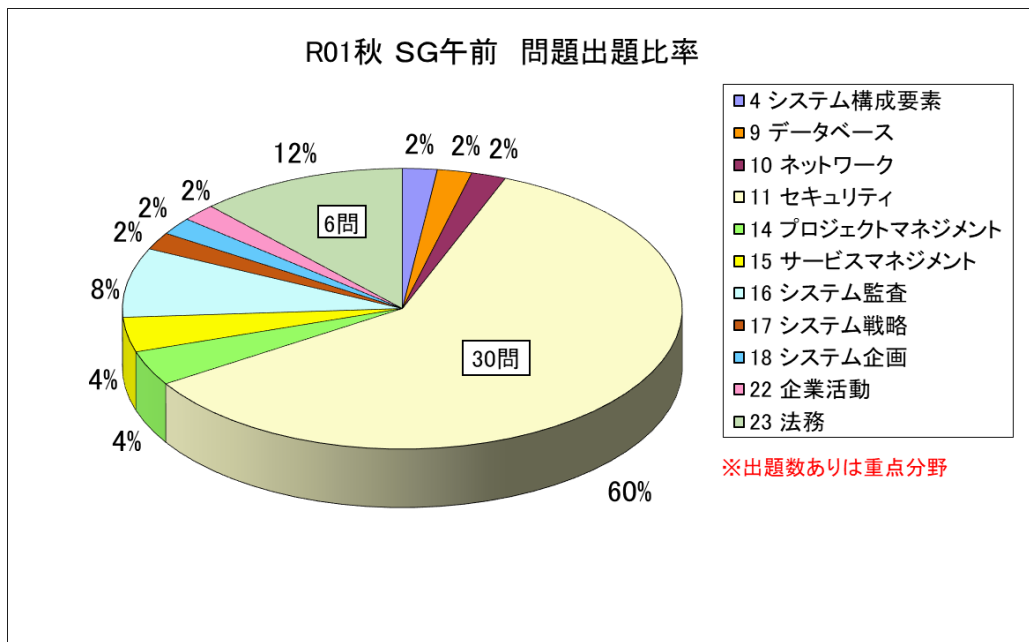
〔午前問題〕

- ・今回の出題数としては、従来どおりSG試験の重点分野のテクノロジー(セキュリティ)が30問、ストラテジ(法務)が6問の計36問(約7割)ありました。その他の出題分野としてはマネジメント系が8問(前回7問)、テクノロジー系が3問(前回3問、システム構成要素、データベース、ネットワーク)、ストラテジ3問(前回4問)でした。
- ・新試験8回目の実施ですが、過去問題は前回とほぼ同じで全体の約5割ありました。出題された過去問題としては、SG試験自身の過去問が16問(前回13問、前々回7問)と増え、基本情報技術者試験が6問(前回10問)、応用情報技術者試験の過去問も1問(前回2問)と減っています。今後もSGの過去問が増えていくと予想します。
- ・他の試験でこれまでに出题されていない新傾向といえる問題は13問ありました。前回の7問より増えています。

- 問1 BECに該当するもの
- 問2 サイバー攻撃などの情報をIPAが集約し共有する取組
- 問6 IoT機器でTCP23番ポートへの攻撃が多い理由
- 問8 VDIサーバのWebブラウザによる参照で期待できるセキュリティ
- 問13 MITB攻撃の対策として用いられるトランザクション署名
- 問14 WAFにおけるフォールスポジティブに該当するもの
- 問18 WPA3に該当する規格
- 問25 ランダムサブドメイン攻撃の応答でオープンリゾルバに発生する事象

- 問 32 技術者の活動に関する法律で罰則のないもの
- 問 36 労働法に照らした機密情報を扱う従業員の扱い見直し
- 問 42 運用作業におけるエラープルーフ化の例
- 問 48 RPA 活用によって業務の改善を図ったもの
- 問 50 記入された文章における単語の出現頻度を分析する手法

令和元年秋期の情報セキュリティマネジメント試験



今回出題されたセキュリティ分野の問題の中で、攻撃手法関連の問題が4問ありましたが（前回は3問）、平均的な出題数でした。また、暗号化と認証の問題は6問で前回の7問と大きくは変わっていません。

今回のほかの特徴として、文章や用語問題でJISの規格番号を明記して出題されている問題が3問しかなく、前回の8問からかなり減りました。JIS規格の27000（1問）、27001（1問）、27002（1問）のほか、JIS Q 27017（クラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の実践の規範）が1問出題されています。規格類をすべて理解するのは大変ですが、資格を実務で生かすためにも一度は読んでポイントを理解しておく必要があります。

また、IPA（内部不正防止ガイドライン）からも1問ですが出題されています。今回出題のなかったIPA（中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン）、経済産業省（情報セキュリティ監査基準 実施基準ガイドライン）などは過去に出題があり、今後出題される可能性がありますので、読んでおくことをお勧めします。

〔午後問題〕

今回の午後問題の出題テーマは次のとおりでした。

問	テーマ	内容	難易度
1	EC サイトの情報セキュリティの改善	EC サイトのセキュリティ対策、顧客情報、インシデントの調査結果、攻撃の種類・対策、付け込まれる脆弱性、追加対策の検討、攻撃監視、監視すべき値	やや易
2	アカウント乗っ取りによる情報セキュリティインシデント	情報セキュリティ委員会、基盤システムのサーバ・端末の概要、SaaS 形式のチャットサービスの仕様、利用ルール、グループチャット、インシデント発生、被害状況把握、影響範囲調査、原因調査、対策検討	普通
3	業務委託先への情報セキュリティ要求事項	情報セキュリティ委員会、コールセンタ用サービスの概要・機能、委託先業務と体制、セキュリティ対策、入退管理、貸与 PC の仕様・利用状況、提案内容の検討、要求事項と評価結果・根拠、対応案の検討	普通

今回の午後試験問題はボリュームは、問 1 が 13 ページ、問 2 が 14 ページでそれぞれ前回と同じ、問 3 が 14 ページ（前回 12 ページ）で、読みこなすのに時間のかかる長文です。

午後試験は 3 問すべてに解答する必要があるため、問題文を根気よく丁寧に読んでいく読解力を付ける演習が重要です。問題ごとに解答するマーク数が異なりますが、各問 10～13 個の解答マーク数でした。選択肢は記号の組合せなど紛らわしいものが多く、選択する際には十分に注意が必要です。

次回以降も同じ程度の問題ボリュームと思われるかもしれませんが、1 問に 30 分かけられることを意識して、長い説明文をあせらずに読み、内容をしっかり理解するようにしてください。問題演習で分からないと、途中であきらめて解答を見てしまう人がいますが、途中でやめることなく、「解答時間 30 分と決めて」問題文からヒントを探すことを続け、最後の時間まで考えて、解答を見つける努力を続けていくと、演習した問題の数に比例して実践力を付けることができます。

〔次回試験に向けて〕

今回、SG 試験で合格基準点の変更を行うという措置が取られましたが、IT を利活用する立場で業務に従事する人のための試験ということを考えると、出題内容は結構難しいといえます。

今後の試験の難易度は今回の措置を考えると、易しくなることが予想できますが、必要な知識を理解するという意味でしっかり学習する必要があります。業務で日常行われているセキュリティ対策関連の基礎知識を、日頃から少しずつ理解していくようにしましょう。

回次の試験対策として過去の試験の出題内容を理解し、攻撃の内容、暗号化と認証の仕組み、IPA で公表されているセキュリティ関連のガイドラインや事例を理解しておきましょう。また、JIS 規格については、下記のサイトで画面上で読むことができるので、JIS Q 27000、JIS Q 27001、JIS Q 27002 の用語の定義部分だけでも読んでおくことをお勧めします。

<http://www.jisc.go.jp/app/jis/general/GnrJISSearch.html>

午後試験問題がこここのところ解答しづらい問題が続いているので、合格点の 60 点を確実にクリアできるようにするため、問題読解力を付ける必要があります。午前対策で学習した知識を一通り理解したら事例への適用力を高められるように、午後試験の対策をしっかりと行ってください。

まずは問題文に書かれている事例と状況などの理解ができるようにしましょう。

アイテックの参考書、問題集の活用をお勧めします。長文問題への対応力をしっかり身につけて受験してください。

